

◆家計資産について◆

本年10月～11月に「全国家計構造調査」（調査対象世帯数：約90,000世帯（全国）うち約1,500世帯（京都府内））が実施されます。これは5年毎に実施される基幹統計調査で、前回（平成26年9～11月調査実施）までは「全国消費実態調査」（前回調査対象世帯数：約56,400世帯（全国）うち約900世帯（京都府内））と呼ばれていたものを、今回、調査期間の短縮等の見直しを行い、後継調査として実施するものです。

ここでは、平成26年全国消費実態調査の結果から京都府の家計資産（二人以上の世帯の1世帯当たり）の特色について見ていきます。

近畿地方の中では、京都府は「宅地資産」が大阪府に次いで高くなっています。全国平均と比べても、京都府の「宅地資産」の総額は高くなっています。（表1）

次に京都府の家計資産の内訳構成比を近畿地方の他府県と比較すると、「金融資産」は大阪府に次いで低く、「宅地資産」は最も高く、「住宅資産」は最も低く、「耐久消費財等資産」は中位となっています。（表2）

なお、家計資産額は、地方によってばらつきがあり、全国平均よりも高くなっているのは、関東と東海です。（図1）

表1 平成26年 全国及び近畿府県別1世帯当たり家計資産額の内訳（二人以上の世帯）

(単位：万円)

資産額	全国	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
総額	3,491	3,453	3,266	3,434	3,326	3,713	3,180
金融資産	1,039	1,082	944	952	1,185	1,353	1,343
宅地資産	1,832	1,585	1,870	1,882	1,592	1,785	1,188
住宅資産	492	628	331	480	426	434	514
耐久消費財等資産	128	158	121	120	123	141	136

(出典：総務省（平成26年全国消費実態調査）)

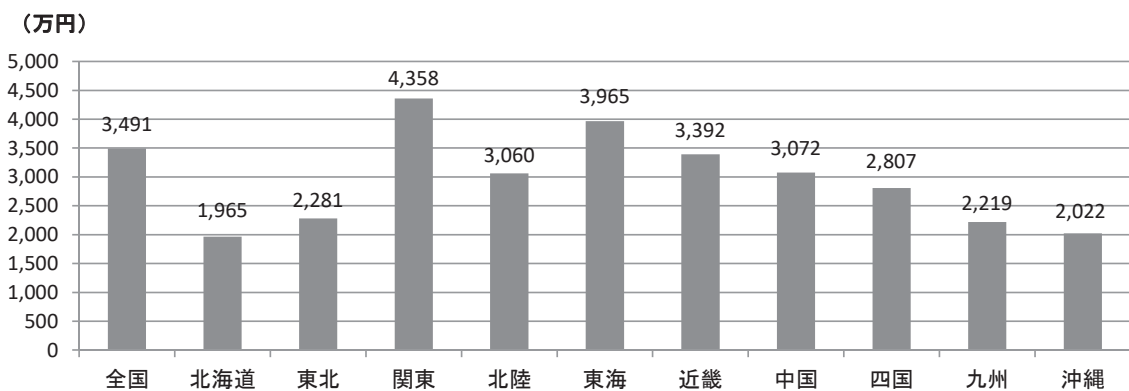
表2 平成26年 全国及び近畿府県別1世帯当たり家計資産額の内訳構成比（二人以上の世帯）

(単位：%)

資産額の構成比	全国	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
総額	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融資産	29.8	31.3	28.9	27.7	35.6	36.4	42.2
宅地資産	52.5	45.9	57.3	54.8	47.9	48.1	37.4
住宅資産	14.1	18.2	10.1	14.0	12.8	11.7	16.2
耐久消費財等資産	3.7	4.6	3.7	3.5	3.7	3.8	4.3

(出典：総務省（平成26年全国消費実態調査）)

図1 平成26年 全国及び地方別1世帯当たりの家計資産額（2人以上の世帯）



(出典：総務省（平成26年全国消費実態調査）)

注：金融資産とは、貯蓄現在高から負債現在高を減じたものをいう。